

平成13年三重県消費者物価指数の動向

1 概要

三重県…平成13年三重県消費者物価指数の総合指数は、平成12年を100とした指数で99.6となり、対前年の変化率は対前年比で0.4%の下落でした。(平成13年より基準値を改正しました。(平成12年=100))

近年の総合指数の動きを対前年上昇率で見ると、平成11年は0.0%と横ばいでしたが、平成12年は0.9%の下落となりました。

平成13年は、衣料やシャツ・セーター下着類、履物類の下落に加え教養娯楽用耐久財、通信の下落により0.4%の下落となりました。

なお、持家の帰属家賃を除く総合指数は前年に比べ0.7%下落の99.3でした。

全国…平成13年全国消費者物価指数の総合指数は、平成12年を100とした指数で99.3となり、対前年上昇率は0.7%の下落で3年連続の下落となりました。

(図1、表1)

図1 消費者物価指数及び対前年上昇率

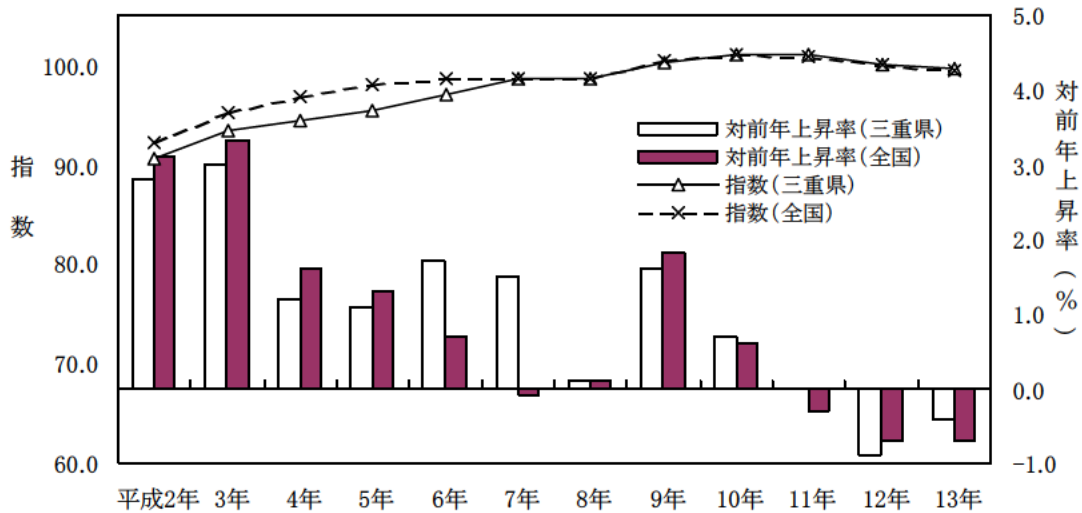


表1 総合指数と対前年上昇率の推移

平成12年 = 100

	三重県				全国					三重県				全国			
	総合	対前年上昇率 (%)	総合 (※)	対前年上昇率 (%)	総合	対前年上昇率 (%)	総合 (※)	対前年上昇率 (%)		総合	対前年上昇率 (%)	総合 (※)	対前年上昇率 (%)	総合	対前年上昇率 (%)	総合 (※)	対前年上昇率 (%)
昭和63年	86.0	0.7	88.1	0.6	87.3	0.7	88.2	0.5	平成7年	98.5	1.6	99.0	0.4	98.5	-0.1	99.0	-0.3
平成元年	88.1	2.4	90.2	2.3	89.3	2.3	90.3	2.3	平成8年	98.6	0.1	98.9	-0.1	98.6	0.1	99.0	0.0
平成2年	90.6	2.8	92.9	3.0	92.1	3.1	93.1	3.1	平成9年	100.2	1.6	100.3	1.4	100.4	1.8	100.6	1.6
平成3年	93.3	3.0	95.7	3.0	95.1	3.3	96.1	3.3	平成10年	100.9	0.7	101.2	0.9	101.0	0.6	101.3	0.7
平成4年	94.4	1.3	96.8	1.2	96.7	1.6	97.7	1.6	平成11年	100.9	0.0	100.9	-0.3	100.7	-0.3	100.9	-0.4
平成5年	95.4	1.0	97.7	1.0	98.0	1.3	98.8	1.1	平成12年	100.0	-0.9	100.0	-0.9	100.0	-0.7	100.0	-0.9
平成6年	97.0	1.7	98.6	1.0	98.6	0.7	99.3	0.5	平成13年	99.6	-0.4	99.3	-0.7	99.3	-0.7	99.1	-0.9

※持ち家の帰属家賃を除く総合

2 年間の動き

平成13年における月々の三重県消費者物価指数の動きを総合指数について、各月の対前年同月上昇率でみました。

1月は、野菜や果物が上昇したものの、履物類や教養娯楽用耐久財が下落したため0.0%となりました。2月はこれらに加えて、衣類等が下落したため、0.2%の下落となり、3月も同様に0.7%の下落となりました。

4月は肉類や通信の下落幅が増え0.5%の下落、5月も引き続き0.5%の下落でした。

6月は、寝具類が6.2%、飲料が4.4%の下落の影響などで0.4%の下落、7月は調理食品の3.7%の下落などの影響で0.3%の下落でした。

8月は、衣類5.0%、シャツ・セーター下着類が7.0%の下落の影響で、0.6%の下落でした。

9月は0.1%の下落にとどまり、10月は0.0%でした。

11月は生鮮野菜が13.9%、生鮮果物が6.8%下落した影響などで0.7%の下落、12月も同様の傾向が続き1.0%の下落でした。(図2、表2、統計表第1表)

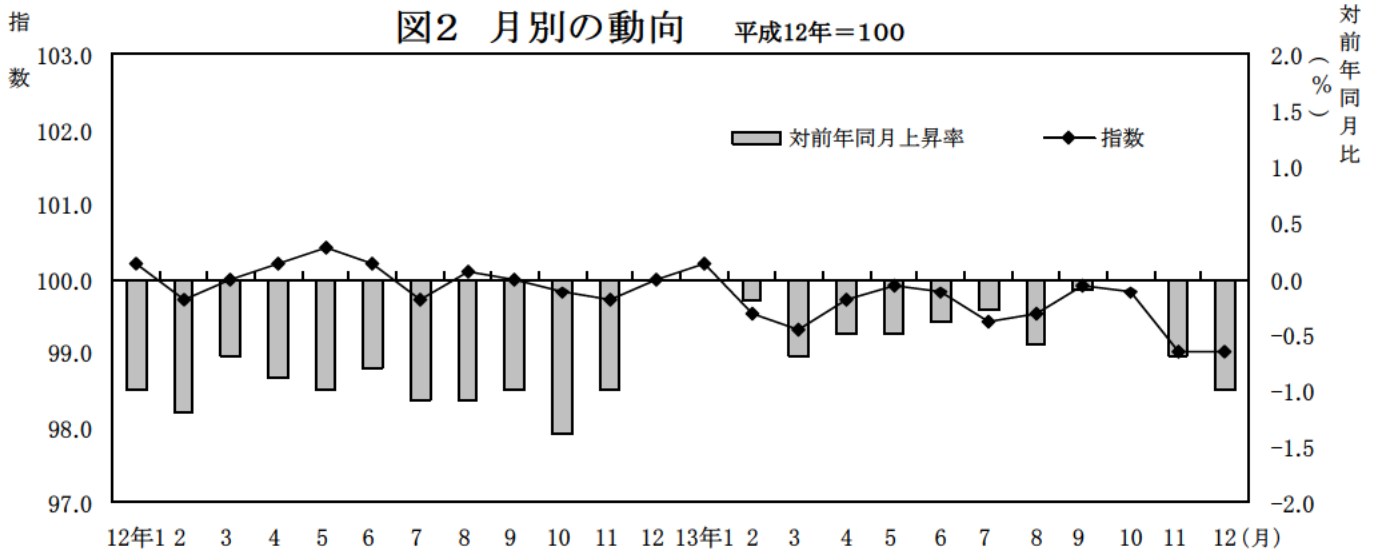


表2 対前年同月上昇率及び
三重県総合指数対前年同月上昇率に対する寄与度

対前年同月上昇率…単位：%

月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
対前年同月上昇率	総合	三重県	0.0	-0.2	-0.7	-0.5	-0.5	-0.4	-0.3	-0.6	-0.1	0.0	-0.7	-1.0
		全国	-0.3	-0.3	-0.7	-0.7	-0.7	-0.8	-0.8	-0.7	-0.8	-0.8	-1.0	-1.2
	持家の婦 属家賃を 除く総合	三重県	0.1	-0.2	-0.6	-0.6	-0.9	-1.0	-0.8	-1.1	-0.5	-0.4	-1.1	-1.3
		全国	-0.4	-0.4	-0.9	-1.0	-0.9	-1.0	-1.1	-0.9	-1.0	-0.9	-1.3	-1.6
三重県総合指数対前年同月上昇率に対する寄与度(小・中分類で寄与度の大きいもの)	生鮮魚介	0.04	0.05	0.12	0.20	0.20	0.07	0.06	0.07	0.06	0.09	-0.04	0.05	
	生鮮野菜	0.27	0.28	-0.03	0.02	0.02	-0.05	-0.10	0.08	-0.01	-0.02	-0.22	-0.33	
	通信	-0.12	-0.15	-0.20	-0.15	-0.21	-0.21	-0.21	-0.21	-0.21	-0.17	-0.17	-0.17	
	教養娯楽耐久財	-0.21	-0.19	-0.19	-0.20	-0.20	-0.20	-0.20	-0.18	-0.16	-0.14	-0.15	-0.14	

3 費目別指数の動き

平成13年平均の三重県消費者物価指数を10大費目別に前年と比較すると、住居、光熱・水道、保健医療、教育が上昇し、食料、家具・家事用品、被服及び履物、交通・通信、教養娯楽が下落しました。諸雑費は前年と同じでした。(図3、表3)

(1) 食料

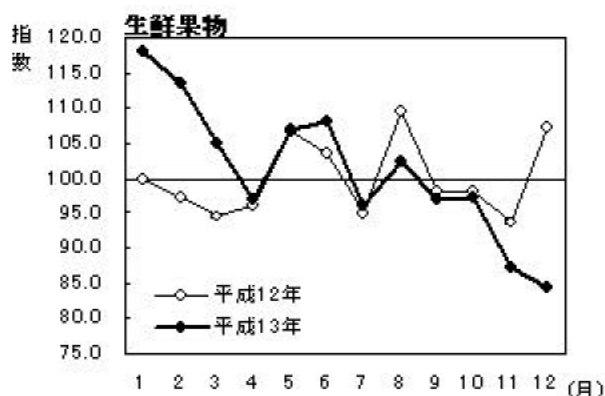
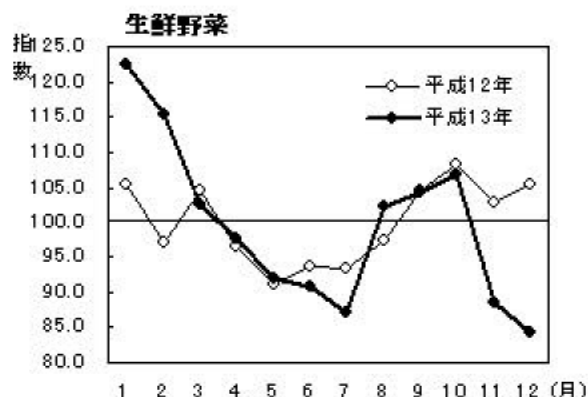
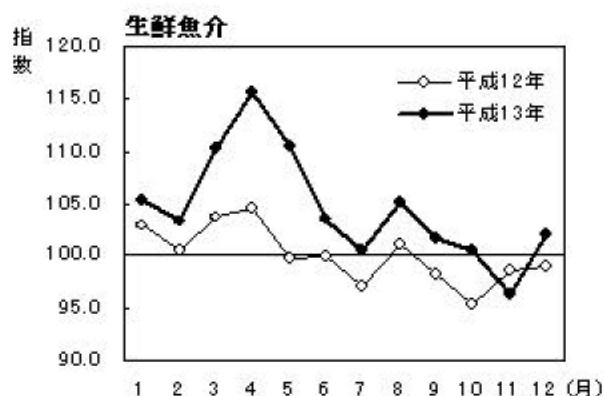
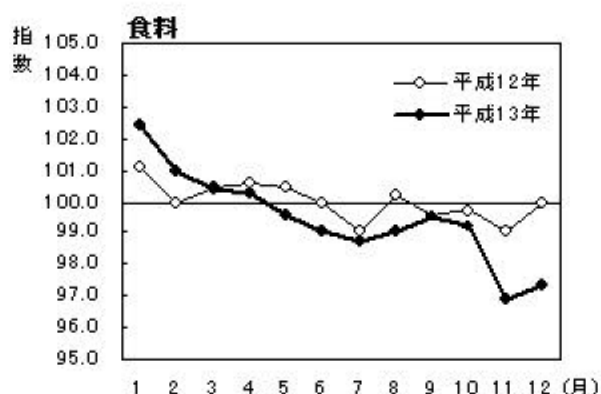
食料は 99.4 となり、前年に比べ0.6%下落しました。

変化率の内訳をみると、乳卵類が3.4%、飲料が2.6%、穀類が2.3%、野菜・海藻が1.2%、菓子類が1.0%、肉類が0.8%、外食が0.5%、酒類が0.3%、油脂・調味料が0.1%の下落でした。

一方、魚介類が2.4%、果物が1.0%、調理食品が0.1%の上昇でした。

なお生鮮食品についてみると、

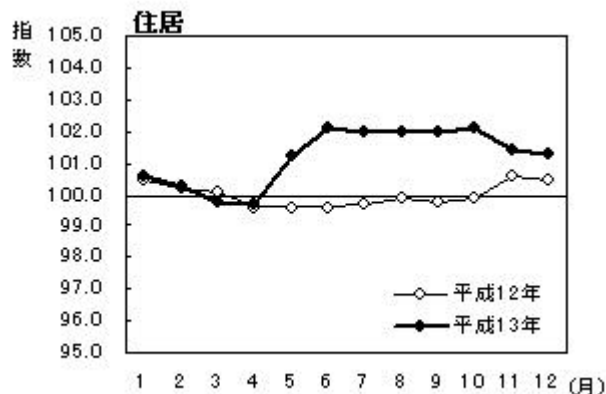
- ・ 生鮮魚介は、11月を除き対前年同月の水準を上回り4.6%の上昇でした。
- ・ 生鮮野菜は、対前年同月比の水準を6月以降下回る月が多くなり、0.5%の下落でした。
- ・ 生鮮果物は、1月から7月まで対前年同月比で上昇が続き、8月以降に下落に転じたものの 1.1%の上昇でした。



(2) 住居

住居は 101.2となり、前年に比べ 1.2%上昇しました。

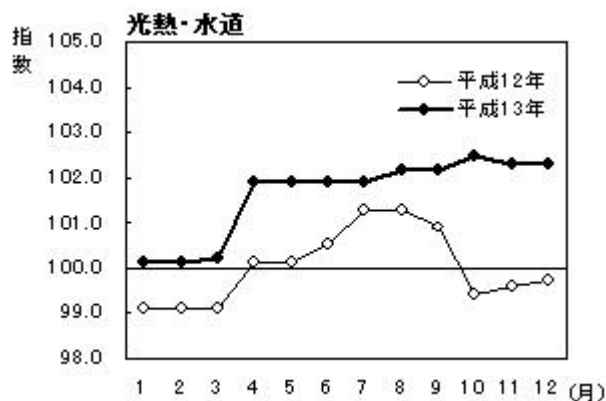
内訳をみると、家賃が 1.5%上昇し、設備修繕・維持が 0.2%上昇でした。



(3) 光熱・水道

光熱・水道は 101.6となり、前年に比べ1.6%上昇しました。

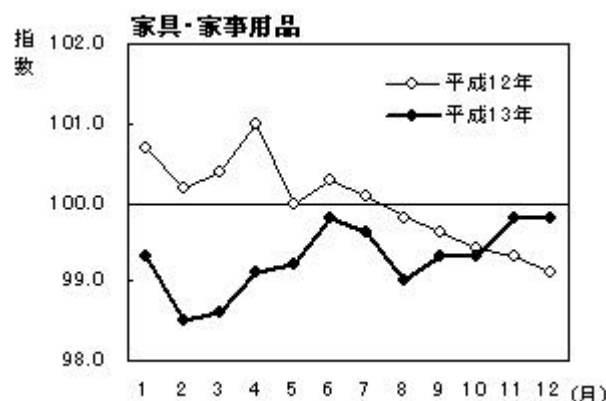
内訳をみると、他の光熱が 6.2%、上下水道が 7.7%、電気・ガス代が 0.2%の上昇でした。



(4) 家具・家事用品

家具・家事用品は99.3となり、前年に比べ 0.7%下落しました。

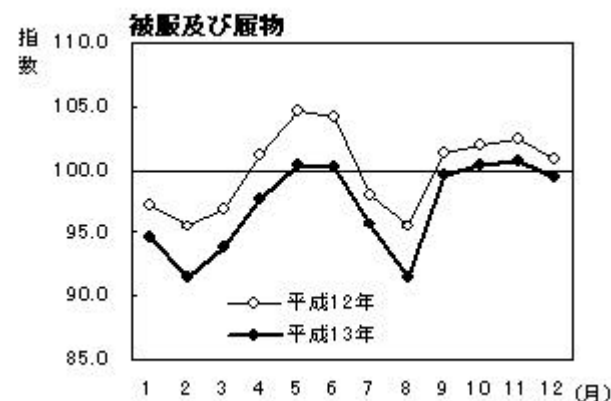
内訳をみると、家庭用耐久財が2.8%寝具類が 2.9%の下落の一方、室内装備品は6.4%の上昇でした。



(5) 被服及び履物

被服及び履物は97.1となり、前年に比べ2.9%下落しました。

内訳をみると、衣料が3.1%、シャツ・セーター・下着類が3.7%、履物類が 3.9%生地・他の被服が0.1%の下落でした。

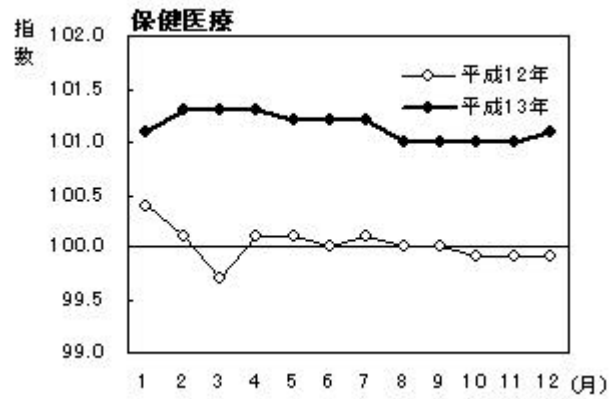


(6) 保健医療

保健医療は 101.1 となり、前年に比べ 1.1% 上昇しました。

内訳をみると、医薬品・健康保持用摂取品が 0.4%、保健医療用品・器具が 1.1% 下落した一方、平成 13 年 1 月施行の老人保健制度、高額医療費制度等の改正等の影響で、保険医療サービスが 3.1%

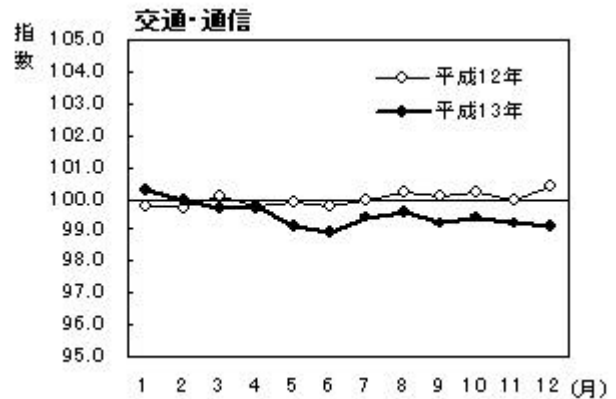
の上昇でした。



(7) 交通・通信

交通・通信は 99.5 となり、前年に比べ 0.5% 下落しました。

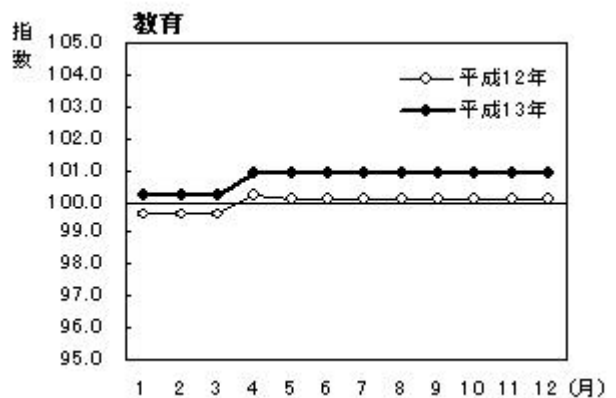
内訳をみると、通信が 6.2% 下落、自動車等関係費が 1.2%、交通が 0.2% の上昇でした。



(8) 教育

教育は 100.7 となり、前年に比べ 0.7% 上昇しました。

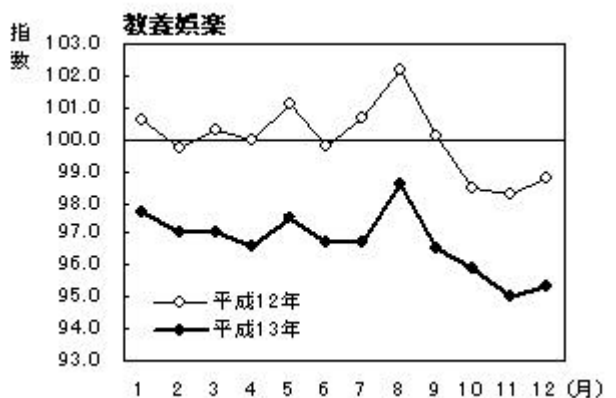
内訳をみると、授業料等が 1.0%、教科書・学習参考書が 1.6% の上昇でした。



(9) 教養娯楽

教養娯楽は 96.7 となり、前年に比べ 3.3% 下落しました。

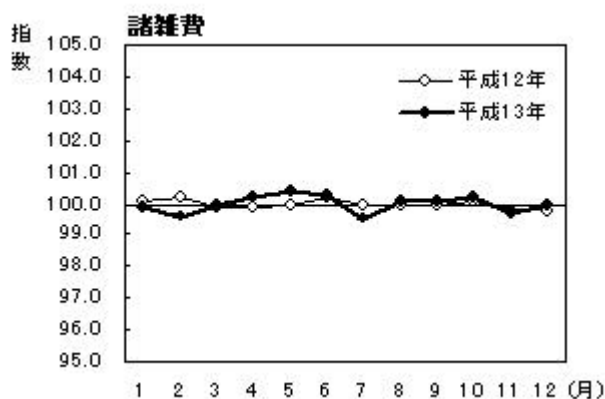
内訳をみると、教養娯楽用耐久財が 17.2%、教養娯楽サービスが 2.4%、教養娯楽用品が 1.7% の下落でした。



(10) 諸雑費

諸雑費は 100.0となり、前年と同じでした。

内訳をみると、身の回り用品が1.5%上昇した一方、理美容用品が 0.9%の下落でした。



4 各費目の総合指数に対する影響(寄与度、寄与率)

寄与度とはその費目が消費者物価指数をどれだけ上下動させたかを示すもので各費目の合計が総合指数の上昇率と同じになるものです。

また、寄与率は、総合の上昇率に占める各費目の寄与度の割合を 100分比 (各費目の寄与度 ÷ 総合の上昇率 × 100) で表すものです。

平成13年三重県消費者物価指数は、総合で見ると前年から0.4%の下落でした。

それぞれの費目では、指数の上昇したものと下落したものがあり、総合に影響を及ぼした度合(寄与度)を主な中分類別費目でみると、主に住居の家賃が0.24、交通・通信の自動車関係費が0.11、光熱・水道の上下水道が0.09と物価を押し上げる方向に働き、一方、交通・通信の通信、教養娯楽の教養娯楽用耐久財がそれぞれ 0.18、教養娯楽の教養娯楽サービスが 0.15、被服及び履物の衣料が 0.08と物価を引き下げる方向に働いた結果、全体の寄与度は 0.40 (= 総合指数の上昇率が 0.4%) となりました。

(図4、表3)

図3 費目別対前年上昇率(%)

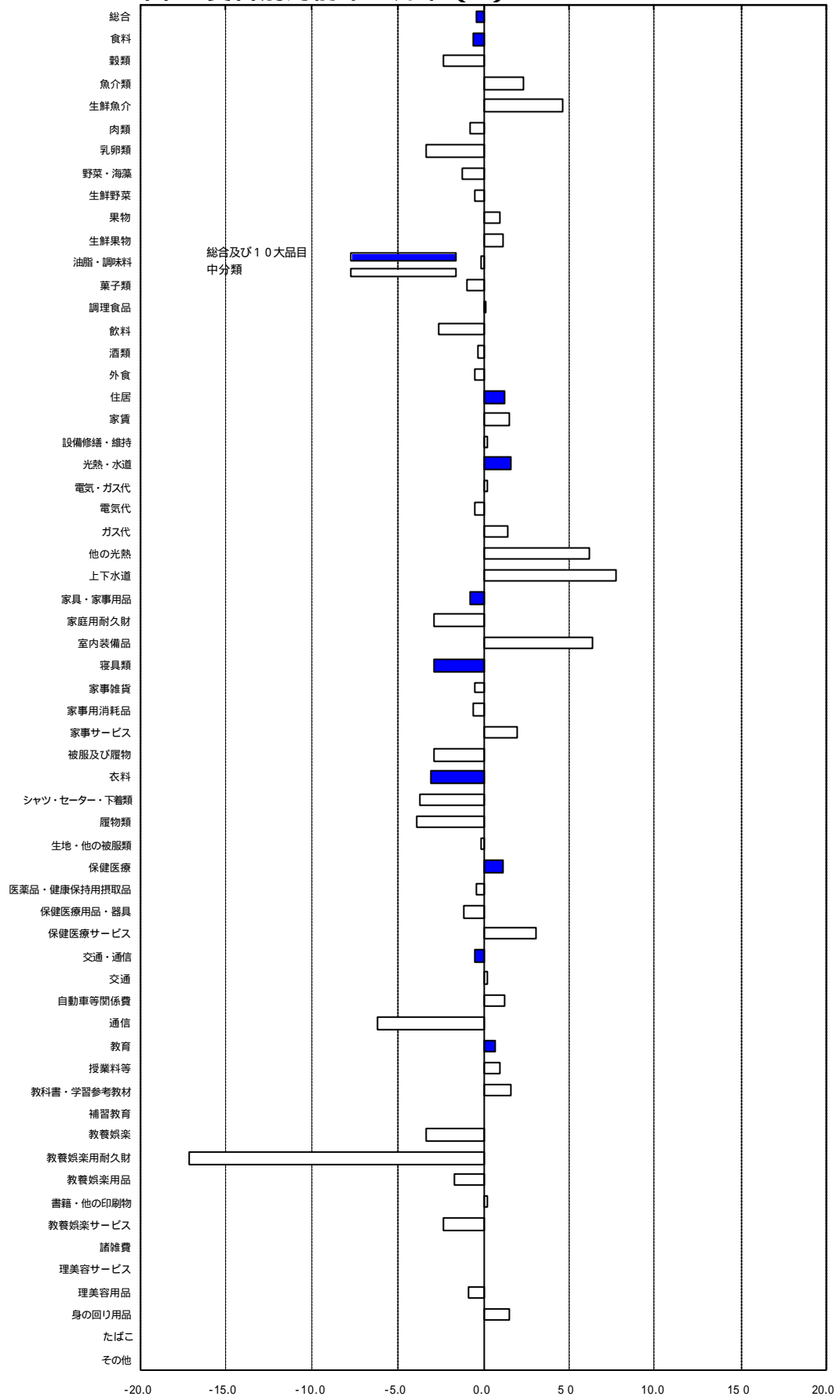


表3 4市平均中分類指数・寄与度・寄与率

指数：平成12年平均 = 100

	指 数		対前年上昇率(%)		寄与度	寄与率(%)
	平成12年平均	平成13年平均	平成12年平均	平成13年平均	平成13年平均	平成13年平均
総合	100.0	99.6	-0.9	-0.4	-0.40	100.0
持家の帰属家賃を除く総合	100.0	99.3	-0.9	-0.7	-0.60	150.0
食料	100.0	99.4	-2.2	-0.6	-0.16	40.4
穀類	100.0	97.7	-3.3	-2.3	-0.06	14.0
魚介類	100.0	102.4	1.4	2.4	0.07	-17.0
生鮮魚介	100.0	104.6	1.2	4.6	0.08	-20.5
肉類	100.0	99.2	-3.4	-0.8	-0.02	4.2
乳卵類	100.0	96.6	-1.7	-3.4	-0.04	9.9
野菜・海藻	100.0	98.8	-7.4	-1.2	-0.03	8.0
生鮮野菜	100.0	99.5	-10.3	-0.5	-0.01	2.0
果物	100.0	101.0	-8.2	1.0	0.01	-2.9
生鮮果物	100.0	101.1	-8.2	1.1	0.01	-3.0
油脂・調味料	100.0	99.9	-4.8	-0.1	-0.00	0.2
菓子類	100.0	99.0	-0.6	-1.0	-0.02	5.7
調理食品	100.0	100.1	-0.6	0.1	0.00	-0.6
飲料	100.0	97.4	-2.8	-2.6	-0.04	8.9
酒類	100.0	99.7	-0.7	-0.3	-0.00	0.9
外食	100.0	99.5	-0.5	-0.5	-0.03	7.7
住居	100.0	101.2	-0.5	1.2	0.23	-57.4
持家の帰属家賃を除く住居	100.0	100.0	-0.2	0.0	0.00	0.0
家賃	100.0	101.5	-0.8	1.5	0.24	-60.5
持家の帰属家賃を除く家賃	100.0	100.8	-1.6	0.8	0.01	-3.7
設備修繕・維持	100.0	100.2	0.7	0.2	0.01	-1.5
光熱・水道	100.0	101.6	1.5	1.6	0.10	-25.9
電気・ガス代	100.0	100.2	1.2	0.2	0.01	-2.5
電気代	100.0	99.5	1.2	-0.5	-0.02	3.9
ガス代	100.0	101.4	1.1	1.4	0.03	-6.8
他の光熱	100.0	106.2	5.5	6.2	0.02	-4.3
上下水道	100.0	107.7	1.8	7.7	0.09	-21.8
家具・家事用品	100.0	99.3	-1.5	-0.7	-0.03	6.8
家庭用耐久財	100.0	97.2	-4.9	-2.8	-0.04	9.4
室内装備品	100.0	106.4	-	6.4	0.02	-4.8
寝具類	100.0	97.1	-	-2.9	-0.01	2.8
家事雑貨	100.0	99.5	-	-0.5	-0.00	0.9
家事用消耗品	100.0	99.4	-	-0.6	-0.00	1.0
家事サービス	100.0	102.0	-	2.0	0.01	-2.3
被服及び履物	100.0	97.1	-2.3	-2.9	-0.17	42.0
衣料	100.0	96.9	-3.9	-3.1	-0.08	19.8
シャツ・セーター・下着類	100.0	96.3	-1.3	-3.7	-0.06	15.4
履物類	100.0	96.1	-1.1	-3.9	-0.02	6.0
生地・他の被服類	100.0	99.9	0.3	-0.1	-0.00	0.2
保健医療	100.0	101.1	-0.9	1.1	0.04	-10.4
医薬品・健康保持用摂取品	100.0	99.6	-0.3	-0.4	-0.00	1.2
保健医療用品・器具	100.0	98.9	-5.2	-1.1	-0.01	2.1
保健医療サービス	100.0	103.1	-0.1	3.1	0.06	-14.2
交通・通信	100.0	99.5	0.9	-0.5	-0.07	17.7
交通	100.0	100.2	0.0	0.2	0.00	-1.2
自動車等関係費	100.0	101.2	2.8	1.2	0.11	-26.7
通信	100.0	93.8	-2.9	-6.2	-0.18	45.9
教育	100.0	100.7	0.5	0.7	0.03	-7.5
授業料等	100.0	101.0	0.8	1.0	0.03	-7.8
教科書・学習参考教材	100.0	101.6	0.3	1.6	0.00	-0.4
補習教育	100.0	100.0	0.0	0.0	0.00	0.0
教養娯楽	100.0	96.7	-1.1	-3.3	-0.37	92.5
教養娯楽用耐久財	100.0	82.8	-3.7	-17.2	-0.18	44.7
教養娯楽用品	100.0	98.3	-	-1.7	-0.04	10.9
書籍・他の印刷物	100.0	100.2	-	0.2	0.00	-0.8
教養娯楽サービス	100.0	97.6	-	-2.4	-0.15	36.4
諸雑費	100.0	100.0	0.2	0.0	0.00	0.0
理美容サービス	100.0	100.0	0.0	0.0	0.00	0.0
理美容用品	100.0	99.1	0.2	-0.9	-0.01	2.9
身の回り用品	100.0	101.5	0.6	1.5	0.01	-2.9
たばこ	100.0	100.0	0.0	0.0	0.00	0.0
その他	100.0	100.0	0.0	0.0	0.00	0.0

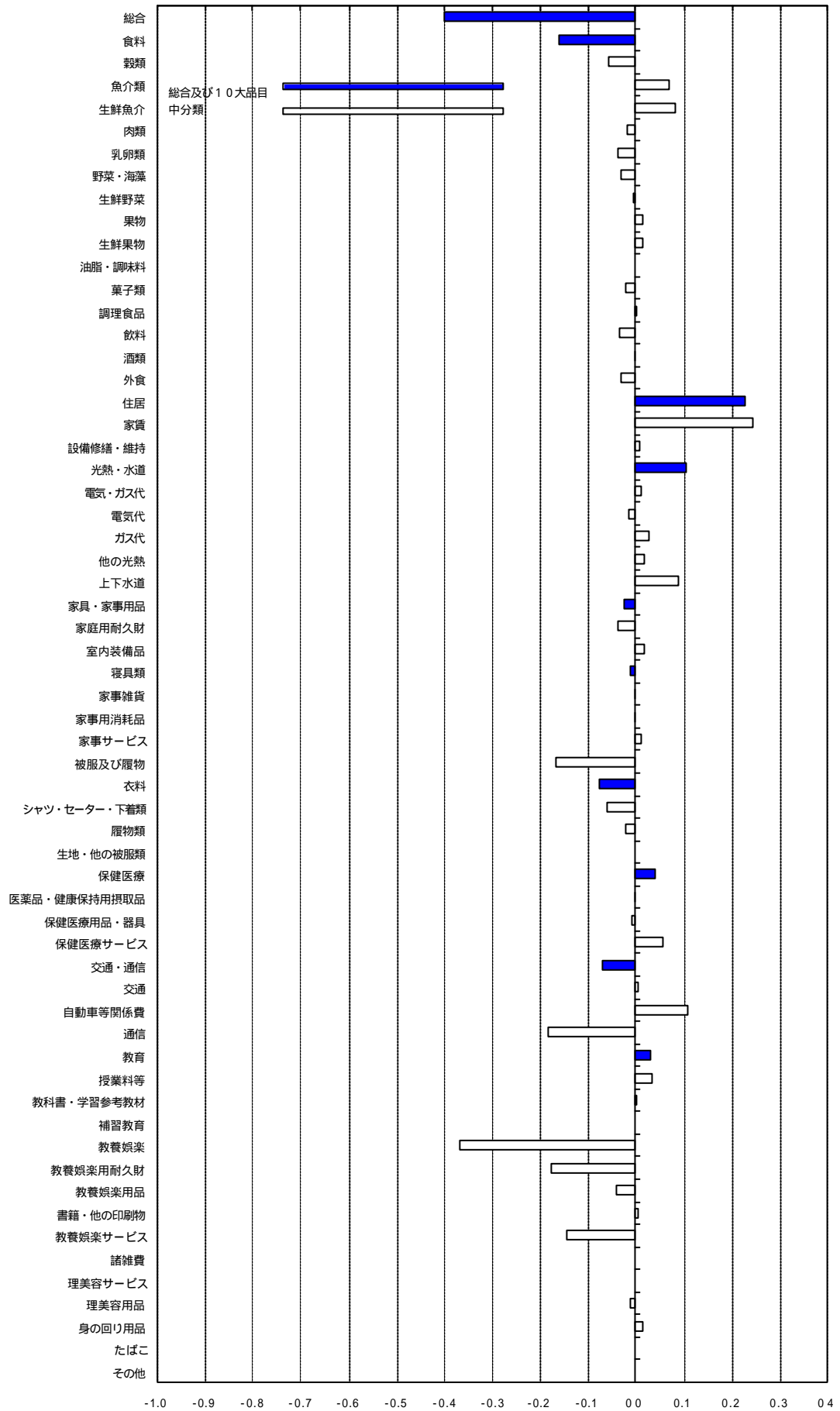
1 持家の帰属家賃を除く総合

2 持家の帰属家賃を除く住居

3 持家の帰属家賃を除く家賃

注・寄与度の数値は、小数点以下第3位を四捨五入して表示。-は分類変更等のため対前年のデータがないことを示す。

図4 消費者物価指数の対前年上昇率に対する寄与度



5 各市の動き

県内4市の消費者物価指数の動きを対前年上昇率で見ると、津市で0.8%下落したほか、上野市で0.7%の下落、桑名市では0.5%の下落でした。

一方、尾鷲市は2.7%の上昇でした。

(図5、表4)

(内訳)

4市を通してみるといずれの市も被服及び履物、教養娯楽が下落した一方、光熱・水道、保健医療、教育が上昇しています。

個々に見ると、津市では、住居が1.1%の下落で4市の中では唯一の下落となっています。

桑名市では、家具・家事用品が3.3%の下落で4市の中では最大の下落幅となっています。

上野市では、被服及び履物が5.3%の下落で4市の中では最大の下落幅となっています。

尾鷲市では、住居が17.4%の上昇で4市の中では最大の上昇幅となっています。尾鷲市の住居が4市の中で唯一上昇したのは、調査地区の変更による影響によるものと思われます。

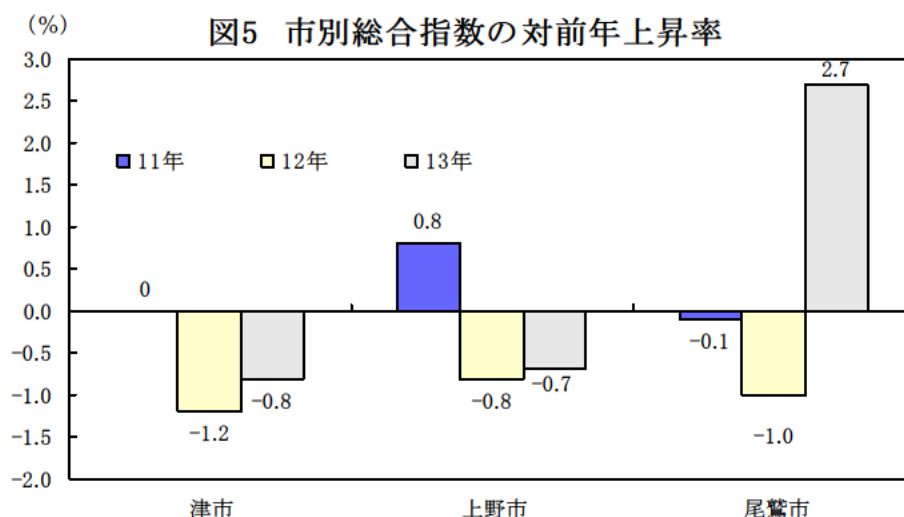


表4 都市別10大費目別対前年上昇率 (単位：%)

	総合	持家のく帰属総家賃	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
津市	-0.8	-0.7	-0.7	-1.1	2.3	0.7	-3.0	1.2	-0.5	0.8	-3.4	0.1
桑名市	-0.5	-0.7	-0.3	0.0	1.4	-3.3	-1.3	1.3	-0.6	0.7	-3.1	-0.2
上野市	-0.7	-1.0	-0.9	1.7	0.4	-0.2	-5.3	0.8	-0.8	0.4	-3.1	0.2
尾鷲市	2.7	-0.4	0.0	17.4	1.1	-0.2	-2.8	1.1	0.3	1.1	-3.5	0.3